



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）3月25日号 No. 1590

目次

■ 沿海地方の投資プロジェクト —APEC後の開発の行方—	齋藤 大輔 1
■ トピックス	7
TECがロシア製油所近代化プロジェクトを受注／7	
ジャトコ、モスクワ市に駐在員事務所／7	
日ロ交渉でサケ・マス初の上限なし／7	
2020年のロシアの天然ガス輸出の15%はLNGに／7	
ロシア政府、15のイノベーション地域クラスターを選定／7	
■ エトセトラ	9
『調査月報』2013年4月号のご案内／9	

沿海地方の投資プロジェクト —APEC後の開発の行方—

ロシアNIS経済研究所 主任
齋藤 大輔

はじめに

大開発に沸いたロシア極東の沿海地方はAPEC後、どこに向かい、何をしようとしているのか。そんな疑問から沿海地方の投資プログラムをまとめた。ここで紹介するのは沿海行政府がAPEC時に発表した20の優先プロジェクトである。ただ、そのまま掲載するわけではない。現地での調査やヒアリングを踏まて、より詳細な情報をお届けする。

コメント

サーキット場にカジノ 国際サーキット場なんて、数年前のロシアからは考えられなかった。それだけロシアの経済発展が目覚ましいということだ。ウラジオストク郊外に国際自動車連盟（FIA）公認のサーキット場やモトクロス場、さらにはホテルやショッピングセンターなどもあわせもつ総合スポーツランドをつくる。事業会社のSUMOTORIは「相撲取り」からくる。日本、韓国、ドイツの自動車・建機メーカー数社のディストリビュータを務める。